

10 2023
月号

宮前だより

一般展示

「知っておきたい「お金」の話」

YA展示

「ゲームな世界」

古典展示

「所詮この世は金次第」



▲写真左 (マカロンエショコラのオータム マカロンポーロ)、写真中2つ (シュガーバインのクッキー)、写真右 (パティスリー ホソコシの焼菓子)

10月31日のハロウィンは、日本でも子どもたちの仮装行列などのイベントとして根付いてきました。もともとは古代ケルトの祭礼で、死者の魂が家族のもとに帰ってくる「お盆」のような行事だそうです。この時期、街のお菓子屋さんでは、ハロウィンにちなんだお菓子が登場。図書館周辺のパティスリーでも様々なスイーツが並んでいます。

10月のイベント

第9回 ぼうさいふれあいフェスタ

10月29日(日) 10～12時

宮前図書館隣の駐車場で、防災関係のイベントを開催。初期消火やロープワークなどの訓練、消防車に乗車しての写真撮影、輪投げやヨーヨーつりなどのこどもまつりも行なわれます。ランチブースでは、焼きそばやフランクフルト、お子様弁当等の販売も。宮前図書館は、本のリサイクル市を行ないます。みなさん、ふるってご参加ください!



一昼夜2万3500句独詠の矢数俳諧を達成後、浮世草子の世界へ。元禄時代の人気作家・井原西鶴を特集します。

『日本永代蔵 全訳注』

井原西鶴 / 作
講談社学術文庫 BGI

富を築き、守らんとあがく庶民の姿を活写した浮世草子の傑作!



今月のテーマ

所詮この世は金次第

十月
古典特集

宮前図書館分館収集
明治以前の
日本文学

Y Young Adult 10月

ヤング アダルト 特集

今月のテーマ → → → 「ゲームな世界」

ゲームに登場するキャラクター、モンスター、偉人達 etc....
みんな本にルーツがあった!? ゲームのモチーフになった世界を探しに行こう!

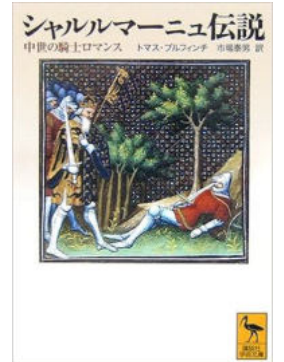
展示期間:10月6日(金)～11月1日(水)

『シャルルマーニュ伝説 中世の騎士ロマンス』

トマス・ブルフィンチ/作 市場泰男/訳 BRF
講談社学術文庫

ゲーム…Fate/Grand Order、Fate/EXTELLA LINK

8世紀に西ヨーロッパを統一し、ヨーロッパの父と呼ばれるカール大帝(シャルルマーニュ)。彼と彼の仲間の貴族達をシャルルマーニュ十二勇士と呼び表します。彼らの武勇を魔法や妖精たちが彩る、伝説の冒険譚。



10月の新着本



『ハナコの愛したふたつの国』

シンシア・カドハタ/作 もりうち すみこ/訳 ★933カ
小学館

カリフォルニアでレストランを営んでいたハナコの家族は、大戦が終わり、船で日本を目指すことに。全てを無くし、着の身着のままたどり着いた日本で、ハナコたちを待っていたのは…。数奇な人生を送った日系人の物語。



一般特集

10月

今月のテーマ

「知っておきたい『お金』の話」

キャッシュレス時代が到来し、お金の取り巻く環境もひと昔前とは様変わりしました。今、知っておいて損はないお金の話をご紹介します！

展示期間：10月6日(金)～11月1日(水)

『経済学の思考法 稀少性の経済から過剰性の経済へ』

佐伯啓思/著 講談社学術文庫 講談社 BY9

格差拡大、雇用不安、デフレ、グローバリズムの停滞…。「構造改革」以降、実感なき好景気と乱高下する日本経済。現代資本主義が直面する数々の困難を徹底的に検証。アダム・スミスからリーマン・ショック、アベノミクスまで、経済学の限界と誤謬を提示する。



『一生楽しく浪費するためのお金の話』

劇団雌猫/著 イースト・プレス 591円

このまま浪費し続けて、20年後も大丈夫？節約できない人に向けて、貯金ゼロ知識ゼロからの「趣味も遊びも我慢しないで、貯めて増やす」3つの鉄則を紹介します。



『年収150万円一家 毎日のこんだて』

森川弘子/著 メディアファクトリー 596円

夫はSF作家、妻はイラストレーター、夫婦合わせて年収150万円。だけど、食べることに妥協はしない。家族3人分を1食約100円のできる、格安＆激ウマレシピをマンガで大公開。

みんなの広場

晴れ舞台仮の装い脱ぎ捨て蝉しぐれ
 佃弱り替え無くボウズかな
 チャットボット今GPTとか虚しかり

小戾心儿

またひとつ最後の夏と呟いた
 秋夕焼煮付けの匂ひ漏れる路

雪ノ下青観

初秋や先着順に間に合わず
 駐車場暮れて密かに残る蚊よ
 散り散りに駆け出す子ども秋暑し

音々

暑い日がつづいているねかなしいな

リこあ

逆光に透けて輝く花芒
 握りても砂こぼれゆく秋の浜
 曼珠沙華すつくと立ちて迷ひなく

千楓

みずうみのほどりねむるわたしたち
 いちにちが終わるいちにちがぶねむる
 おつきさまかさぶたもどしどしく

しょう

くうゆ

みなさまの投稿をお待ちしております。
 川柳、俳句、短歌、詩など形式は問いません。
 投稿ポストは、館内入って左のテーブル、
 2階のカウンター等にございます。



お気軽に
 どうぞみや!

日	月	火	水	木	金	土
1 ☆	2	3	4 ☺	5 休館日	6	7 わらべうた
8 ☆	9 ☆	10	11 ☺	12	13	14 リトミック
15 ☆	16	17	18 ☺	19 休館日	20	21 ☺ あかちゃん おはなし会
22 ☆	23	24	25 ☺	26	27	28
29 ☆ ぼうさいフェスタ	30	31				
☆の日は、5時に閉館いたします。『☺』の日は、おはなしかいの日です。 今後、予定が変更になる可能性がありますので、ご注意ください。						

連載

あの作家の 誕生月は…!? 10月生まれの作家

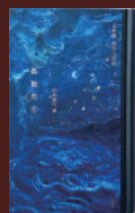
上林暁 (かんばやし あかつき)



1902年10月6日、高知県生まれ。昭和期を代表する私小説作家の一人。東京帝国大学を卒業後、改造社に入社。出世作は『薔薇盗人』。父の病により帰郷するが、1936年に再び上京し、杉並区天沼の借家を探す顛末を書いた『安住の家』を発表。翌年、妻・繁子が精神病になる。『聖ヨハネ病院にて』(1946年)などの病妻物は、この時期の体験に根ざしたものである。自身も2回の脳溢血にみまわれるが創作欲は旺盛で、多くの優れた作品を残した。

『孤独先生』

上林暁/著
夏葉社 913.6カ



心を病んだ妻を看取り、脳溢血によって半身不随となってからも、優れた短篇小説を書き続けた文豪・上林暁。表題作ほか、「天草土産」「二閑人交游図」など全11篇の美しい私小説を、阿部海太の美しい絵とともに収録する。

